



## 平成19年 5月総会

と き : 平成19年5月14日(月)  
場 所 : 堂島ホテル

〔第1部〕総会 担当:業務委員会 15:00~15:45  
会場:6F「HUDSON(ハドソン)」

司会:新保勝浩業務委員長

1. 開会挨拶:西村清志会長
2. 定数確認:谷尾俊弘事務局長
3. 議長選出:
4. 議事録署名人選出:
5. 議事
  - 第1議案 平成18年度活動報告
  - 第2議案 平成18年度収支報告  
平成18年度監査結果報告
  - 第3議案 平成19年度活動方針
  - 第4議案 平成19年度予算案
6. 閉会挨拶:西邦弘運営・渉外担当副会長

〔第2部〕研修会および技術紹介

担当:会員委員会 15:55~18:00  
会場:6F「HUDSON(ハドソン)」

司会:土野池会員委員長

1. 演題「新大臣認定プログラムの動向について」  
ユニオンシステム 株式会社(賛助会員)  
株式会社 ウチダデータ(賛助会員)
2. 技術紹介
  - 「Hyper-MEGA工法」  
ジャパンパイル 株式会社(賛助会員)  
日本コンクリート工業 株式会社(賛助会員)
  - 「アドバンス制震システム」  
株式会社 ノナガセ大阪営業所(賛助会員)
  - 「非破壊試験法による低強度コンクリートの強度推定方法に関する研究」 株式会社 構造総研(正会員)

〔第3部〕懇親会 担当:会員委員会 18:10~19:30  
会場:4F「BACCHUS(バッカス)」

コマーシャルテーブル:第2部紹介内容の他、  
「WAWO構法」株式会社アークリエイト(賛助会員)  
「デッキプレートUAR」日鐵住金建材株式会社(賛助会員)  
司会:報国エンジニアリング(株) 三宅紀子

1. 主旨説明 土野池正義会員委員長
2. 開会挨拶 西村清志会長
3. 乾杯挨拶 川野弘二会員副委員長
4. 懇親会
5. 閉会挨拶 米倉信太郎事業担当副会長

## 会員委員会担当総会

いよいよ各地で、改正建築基準法・建築士法の講習会が始まりました。構造設計者としてなにか釈然としない、また、蟠りを残しながら今回の新法施行に至ったような気がするの私だけではないと思います。今回の例会は、新法施行で非常に重要な部分である大臣認定プログラムの最新の動向について、ユニオンシステム、ウチダデータの賛助会員2社に講演をお願いしました。まだまだ、不透明な部分もありそうですが、会員の皆様への新法施行の準備になれば幸いかなと存じます。また、本日は第35回(2007年度)KSE会総会の開催となりました。円滑な議事進行に会員の皆様方のご協力をお願い致します。

会員委員会委員長 土野池 正義

## 演題概要

「改正基準法に関する弊社の取り組み」

本年6月20日から改正建築基準法が施行され、新しい制度がスタートしようとしています。現在、弊社で検討している告示・大臣認定に関するプログラムの方向性をお知らせいたします。

1. 告示に対する『Super Build/SS2』の対応について
2. 新大臣認定取得予定プログラム  
『(仮称)Super Build/SS3』について
3. 弊社が提供する一貫構造計算プログラム  
『SS2』と『SS3』について
4. 大臣認定制度の動向

ユニオンシステム株式会社  
サービス部部長 奥平 裕信

「新大臣認定プログラムの動向について」

- ・現在の大臣認定プログラム  
許容応力度等計算 **SEIN La CREA DEMOS**  
**BUILD-1**
- 限界耐力計算法 **SEIN DS-LIMIT**
- ・NTTデータ(開発元)の活動状況
- ・新大臣認定プログラムに要求される項目
- ・大臣認定取得に向けて
- ・一貫構造計算プログラム+  
立体動的弾塑性解析 **SEIN La DANS**  
告示免震計算プログラム  
杭・基礎梁設計 **Pile-UK**

株式会社ウチダデータ

建設情報システム事業部 担当:奥村幸司  
TEL:(06)6920-2430

# 平成19年2月例会報告

と き : 平成19年2月19日(月)  
場 所 : 堂島ホテル

〔第1部〕例会 担当:業務委員会 15:00~15:35  
会場:6F「HUDSON(ハドソン)」

司会:谷尾俊弘業務委員

- 1.開会挨拶 西村清志会長
- 2.役員会報告 西邦弘運営・渉外担当副会長
- 3.委員長報告 業務、情報、技術、会員の各委員長
- 4.行事報告 鈴木雄次情報副委員長
- 5.賛助会員技術紹介 ナカジマ鋼管(株) 中島康仁

〔第2部〕講演会 担当:技術委員会 15:40~17:45  
会場:6F「HUDSON(ハドソン)」

司会:松村和夫技術委員会副委員長

- 1.演題「確定申告と節税」  
主旨説明 谷尾俊弘事務局長  
講師 税理士 森崎秀隆氏(元北税務署副署長)  
謝辞 米倉信太郎事業担当副会長
- 2.挨拶「構造計算適合性判定について」  
大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課参事  
浅田行則氏
- 3.演題「改正建築士法と建築基準・審査指針等の動向」  
講師:(株)キンキ総合設計 代表取締役 西邦弘氏  
(建築基準・審査指針等検討委員会全体委員会委員、  
本会運営・渉外担当副会長)

〔第3部〕懇親会 担当:会員委員会 18:00~19:30  
会場:4F「BACCHUS(バッカス)」

司会:報国エンジニアリング(株) 三宅紀子

- 1.主旨説明 土野池正義会員委員会委員長
- 2.開会挨拶 西村清志会長
- 3.新入会員紹介
- 4.乾杯挨拶 松村和夫会員委員会副委員長
- 5.懇親会
- 6.閉会挨拶 西邦弘運営・渉外担当副会長

# 例会の感想

今年度6月に建築基準法が大幅に改正されることに伴い、当協会の西副会長から基準・審査の動向について、パワーポイントを使いわかりやすく説明があり、大勢の会員に出席していただきました。

やはりこれからはできるだけ早く会員に情報公開をしていくよう努力したいと思います。

尚、技術委員会の委員でもある賛田氏が急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

技術委員会委員長 日下 仁志



# 第5回役員会報告

と き:平成19年4月23日(月) 18:00~19:00 場 所:関西建築構造設計事務所協会 会議室  
出席者:西村清志会長、西邦弘副会長、米倉信太郎副会長、谷尾俊弘事務局長、新保勝浩業務委員長、  
樋笠康男情報委員長、土野池情報委員長、長谷川薫理事

## 審議事項

- 1号議案 総会式次第の件 承認可決  
・講演は建築基準法改正時期でもあるのでソフトメーカー2社による『大臣認定プログラムの動向』とする。  
・技術紹介3点とする。
- 2号議案 平成19年度予算の件 承認可決  
・平成19年度中に事務局の移転を行うため、移転費用を50万計上し、他は概ね前年度程度の予算を計上とする案が提示され、単年度で赤字となるがやむを得ないとの意見が出た。
- 3号議案 細則の一部追加の件 満場一致で承認可決  
・各行事の円滑な運営や会の活性化を図るため、役員外の各委員会の副委員長(賛助会員も含む)に要請し、役員会において意見や協力要請を求めることができるよう、細則の追加が提案された。
- 4号議案 役員選出規定の調整の件 満場一致で承認可決  
・役員を選出規定において、選挙を選出に調整するなどの実情に合わせた規定の調整を提案し、また会長選出が互選となった場合における立会いの規定も提案された。

- 5号議案 八戸工業大学H.P記載の件 承認可決  
・八戸工業大学の橋本氏より、床の衝撃音遮断性能予測計算ソフトの無料公開についての申し出があり、当会のH.Pにて情報を掲載する提案が示された。計算結果についての責任問題があるため、あくまで情報提供のみとする意見が出た。

## 提案事項

1. 予算繰越金について  
・ほぼ毎年、繰越金が生じており、現在では約1000万近くの金額となっている。大きな赤字は問題であるが、適正な繰越金額を設定し、当会の活性化や会勢にとって有用な利用法を今後議論すべきであるとの意見が交わされた。

## 委員会の活動内容

### 平成19年度 会長基本方針

会長 西村 清志

#### 建築基準法改正に対応した 建築構造設計業務の厳格な対応を目指す

耐震偽装事件で一部の構造設計者による建築士の社会的信用が低下を招き、これまで以上に建築構造設計業務の厳格な対応が社会的に求められている。建築構造設計事務所はこの建築構造設計業務を実質的に行っている。そこで本会は建築基準法改正に迅速に対応し、建築構造設計事務所の社会的地位の向上に繋がる研鑽を行わなければならない。この絶好の機会を逃すことなく改正の年として会員が一丸となって2テーマにとりくみたい。

#### 1. 構造計算適合性判定期間への判定員支援

昨年度は大阪府より構造計算適合性判定制度への協力依頼を受け、多くの会員の参加を経て本会主催の説明会を行った。そして適切に行動するため、本会是对策本部を設置するとともに例会での改正の動向の説明会を実施し、すみやかな対応をこころみた。その後、国の判定員講習会の受講修了者による判定員の判定機関への参画の依頼があった。本年度はこれを受け**構造計算適合性判定員の協力**を行いたい。

#### 1. 建築構造設計業務関連の情報支援

建築基準法改正から**建築構造設計業務の円滑な対応**を行うため、経営者の役立つ例会を中心とした情報交換や広報活動を行う。そして正会員の例会出席率の向上をはかる。また夫々の委員会活動をより活性化すべく委員会活動の情報提供を重視する。

### 委員会活動方針 業務委員会

いよいよ本年度の6月には、構造設計者をいきなり表舞台に引きずりだ出す？とも言うべき新法が施行され、ある意味裏方としての役目を果たしてきた構造業界の業務内容に、一転して従前の様な業務ではとても対応しきれない非常に重い法的責任を科し、まさに専門構造設計事務所業界の存続に関わる重大な転機を迎えようとしております。

新法施行に対する認識の不足や準備不足では済まされない状況となっており、当委員会ではこのような不測の事態を招かないよう、会員方々はもちろんのこと、専門構造設計事務所の将来のためにも会勢活動を通じて、出来るだけの支援をしていきたいと考えており、合わせて会員の増強にも力を注いでいきたいと考えております。

業務委員会委員長 新保 勝浩

### 委員会活動方針 情報委員会

6月の建築基準法改正は構造計算適合性判定制度を含んだ建築確認や検査の厳格化が主な内容であります。いまだに不確定な所もありますが、自分に必要最低限の情報だけでもすばやく手に入れたいものです。それらを会員に提供するのがKSEの役割だと思っております。毎年更新している標準図CDについては、法改正により設計図書が求められ、特記仕様書や各標準図の必要性がより高まります。また、ホームページなどによる即効性のある情報の発信が必要になります。yahooやmsnのように毎日や毎週にでも情報更新したいものです。それに現在も継続中ですが、賛助会員の御協力を得て、最新の技術や動向を会員に提供し、KSEの存在を建築関係のみならず一般社会にもアピールしていく事を今後の活動方針にしたいと思います。

情報委員会委員長 樋笠 康男

### 委員会活動方針 技術委員会

平成19年度は建築基準法改正により構造計算適合性判定制度を含んだ確認申請及び検査が厳しい方向に向かっています。技術委員会としても基準法改正に伴う各標準図及び特記仕様書の充実化を図る必要があり、それらを会員に提供するのKSEの役割だと思っております。また、賛助会員の御協力を得て、会員・賛助会員の共同開発で新技術・新工法などの研究をできるような機会を作って活性化を図り動向を会員に提供し、KSEの存在を建築関係のみならず一般社会にもアピールしていく事を今後の活動方針にしたいと思います。

技術委員会委員長 日下 仁志

### 委員会活動方針 会員委員会

改正建築基準法・建築士法の施行を控え、構造設計者だけでなく建築設計業界にとって、大きな転機を向かえようとしています。KSE会では、今回の新法施行に際し、会員の皆様に来るだけ正確な情報発信をする予定です。また、賛助会員のご協力をいただき、KSE会への入会意義があったと実感できるような委員会事業の実施を考えています。今回の新法施行により大臣認定プログラムの扱いが大きく変わります。賛助会員のご協力を得て、新認定プログラムの動向についても会員の皆様への情報提供を行う予定です。正会員、賛助会員とも今回の新法改正を転機と捕らえ、より一層の会員増強を進めます。

会員委員会委員長 土野池 正義

## 関西PC研究会

平成19年4月7日(土)大阪ビジネス会議センターにて14:00~16:30に開催されました。次回は平成19年6月9日(土)肥後橋センタービル地下1階会議室にて14:00~17:00開催予定です。

## 訃報

去る4月18日、本会の情報・技術委員会で活躍された正会員の二エダ設計費田正一さんが急逝されました。享年46歳、残念です。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

## 第69回KSE会ゴルフコンペ報告

開催日 : 平成19年3月16日(水)快晴  
 開催場所 : 瀬田ゴルフコース(北コース)  
 参加者 : 35名

優勝 杉村 光雄 90  
 準優勝 北野 隆司 95  
 第3位 橋本 健男 89  
 グロススコアです。

当日は、少し風がありましたが、快晴のすばらしい天気でした。  
 女性参加者は3名でした。正会員の参加者が少なかったのが残念でした。次回開催は第70回になります。  
 記念開催を予定しています。 (幹事談)



## 会員技術紹介

非破壊試験法による低強度コンクリートの強度推定方法に関する研究(その2:引っかけ傷法)

「要旨」 株式会社 構造総研(正社員)

既存建物の耐震診断を行う場合など、コンクリート強度を調査することが必要不可欠である。

この時、通常は採取したコンクリートコアをしかるべき試験機関に送って強度試験を行ってもらう。この現場採取から強度試験結果を受け取るまでには時間がかかる上、もし強度が例えば10N/mm<sup>2</sup>前後の低い値であれば、再び現場に行き試料採取を行うことになる。この様な二重手間を避けるため、およその強度を知るため等を目的として、その強度を現場で非破壊試験測定によって推定できる装置を開発した。その装置とは、採取したコンクリートコアの表面を“一定の針圧で引っかけて”その引っかけ傷幅を光学的に測定して瞬時にその場で強度を推定できるようにしたもので、今回低強度域を中心とした検証実験を行い、良い結果が得られたので報告する。本実験において得られた圧縮強度が15N/mm<sup>2</sup>以下の低強度コンクリートのデータを、実用性を考慮して直線式で表示した場合の各非破壊試験法による強度推定式を表1に示す。

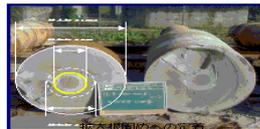
| 測定方法     | 測定面 | 推定式                       | 相関係数  |
|----------|-----|---------------------------|-------|
| 引っかけ傷法   | 型枠面 | $F_c = -9.67D + 20.1$ (1) | 0.955 |
|          | 切断面 | $F_c = -18.3D + 24.7$ (2) | 0.983 |
| 超音波速度法   | -   | $F_c = 6.77V - 16.2$      | 0.867 |
| ウインザーピン法 | -   | $F_c = 57.4W - 33.6$      | 0.757 |
| 反発度法     | -   | $F_c = 0.328R - 0.194$    | 0.652 |

上記表の通り、引っかけ傷法は、特に切断面の15N/mm<sup>2</sup>以下の引っかけ傷幅約0.5~2mmまでの強度範囲において、相関係数0.983と言う高い相関関係が得られた。これにより、引っかけ傷法は低い強度のコンクリートに用いると、有効であることが分かったのでその詳細をご報告します。

### Hyper-MEGA工法

『信頼性』と『設計の自由度』の提供を可能にしたHyper-MEGA工法。

『信頼性』: 設計支持力を確実な手順で確保。



ジャパンパイル株式会社  
 日本コンクリート工業株式会社

### アドバンス制震システム

変位・速度増幅機構を応用し、地震や強風による建物の変形や加速度を効率よく軽減。安全性と居住性を高める制震技術です。



販売 KSE 株式会社 ノナカセ TEL.03-3552-1314  
 設計 (株) 川口テクノソリューションズ TEL.048-259-1145  
 製造 (株) 川口金属工業株式会社 TEL.048-259-1111

## 9月例会の案内

とき : 平成19年 9月 吉日  
 場所 : 堂島ホテル  
 担当 : 情報委員会

【発行】関西建築構造設計事務所協会 情報委員会  
 〒543-0024 大阪市天王寺区舟橋町15-31  
 カネイチビル4F  
 TEL: 06-6763-8205, FAX: 06-6763-8206  
 編集長: 樋笠康男 (株)長田建築事務所  
 発行日: 平成19年5月14日 通巻35号